

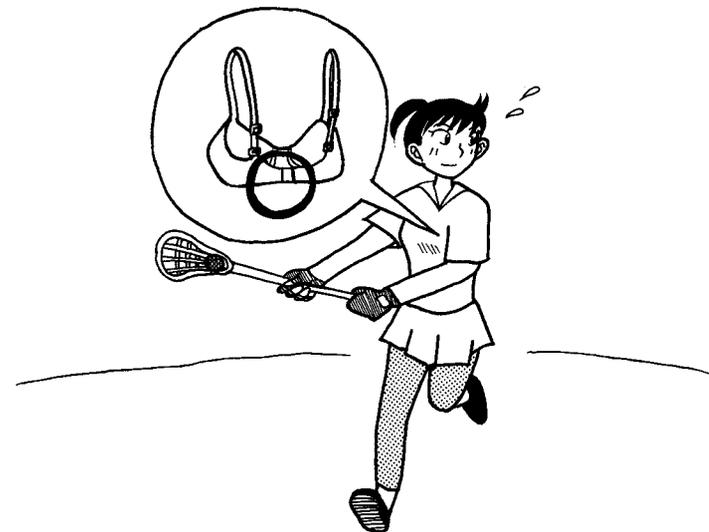
ブラジャーのバックパネルの設計条件が 動作適合性および快適性に及ぼす影響

研究代表者 横浜国立大学 薩本 弥生

ブラジャーは、左右のカップをフロントパネルで接続し、左右サイドパネルを経て、それぞれ左右のバックパネルへと続き、左右バックパネルは背部でフックにより接続する構造になっています。本研究は、このブラジャーのバックパネルに着目して、その形状や素材物性が、動作適合性や快適性とどう結びついているかを検討したものです。

実験は基本的形・サイズを同一として、バックパネルの形状2種(弓形、直線)、バックパネルの素材3種、下辺テープの素材3種、下辺テープの幅2種を変化させ、合計24種のブラジャーを試作し、運動を伴う着用実験を行ないました。評価は被験者の動作に対し、三次元動作解析装置によるズレ量の動態計測、ズレ感・快適感の主観申告、衣服圧測定によるものです。

その結果、三次元動作解析装置によるズレの動態評価からバックパネル素材が影響し、また衣服圧計測からバックパネル素材と下辺テープの種類が影響することがわかりました。主観評価では、安静時とは傾向が異なり、動作時にズレの生じにくい、拘束性の高いブラジャーが快適と評価されました。



ブラジャーの動作適合性・快適性には、バックパネル素材と下辺テープの種類が影響する

